



含浸材の密度試験（JIS K 5600-2-4：ピクノメーター法）

近年、コンクリートの塩害・凍害対策として、表面含浸工法が注目されています。表面含浸工法とは、コンクリート表層部の組織の改質、コンクリート表層部への特殊な機能の付与などを実現させるために、コンクリート表面に含浸材を塗布し、構造物の耐久性を向上させる工法です。低コストで施行が容易な工法であることから年々需要が高まっています。

当機構では、NEXCO構造物施行管理要領で定められている材料受け入れ検査時に行う含浸材の密度試験を実施しています。

試験器具

NEXCO構造物施工管理要領に定められている金属比重瓶を標準器具として試験を実施しています。

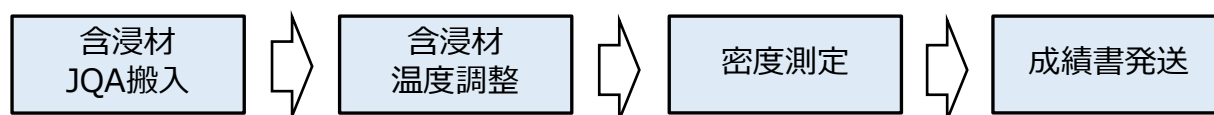


写真1 金属比重瓶



写真2 測定状況

試験の流れ



試験方法および適用規格

JIS K 5600-2-4「塗料一般試験方法-第2部：塗料の性状・安定性-第4節：密度（ピクノメーター法）」

適用規格	試験頻度	規格値
NEXCO 構造物施工管理要領	材料納入時の 製品ロットごとに1回	製造メーカーが発行する性能証明書及び品質規格証明書 記載の規格値を満たしていること

上記試験以外に、材料受け入れ検査時に行う「フーリエ変換赤外分光分析（FT-IR）」も実施しています。

お問い合わせ先 <https://www.jqa.jp>

一般財団法人 日本品質保証機構

<マテリアルテクノ営業部>

中部営業課 〒481-0043 愛知県北名古屋市沖村沖浦39

TEL 0568-24-2204

/ FAX 0568-24-1630

E-mail chubu-mt-cstm@jqa.jp